

疑惑のスチャラカ新日本紀行 その3

ツアースタート、毎日変わる演目、なんで？

古村敏比古

と いうわけで、2025年9月27日、水戸市民会館で【On The Road 2025】スタートあります。我々は前々日のゲネプロのため更にその1日前から水戸に入る。5泊も水戸で過ごす。さてさて、その演目であります、大筋は決まっているのだが、毎日変わる。なんで？ お客様は多分、1回しか観られないだろうに？ ま、我々の緊張感を高めるためなのだろう。いや、これがどうも混乱する。もちろんその楽曲は練習しているのだから当然できますが、曲つなぎなどがあると、楽器の持ち替えがあったり、なかったり？ はい、確かにボーッとしてはいられません。んー、意外と大変。ま、何はとも

あれゲネプロと1日目のメニューは同じ。ゲネが終われば翌日はオフ。ちょうど、評判の『Led Zeppelin Becoming』という映画が公開されていたから是非観たかったのだが残念、水戸ではやっていない。しかたないので、『チェンソーマン レゼ篇』を観る。なかなかおもしろいじゃないの。『Led Zeppelin…』は川崎の映画館で観たが、いやかっけー！ 客層は私を含め高齢者が圧倒的。

さ て話をツアーにもどしましょう。ここから織田哲郎氏のリハーサルとツアーが入ってくる。織田のリハーサルをやって、On The Roadの北海道ツアー（ヒグマ出没？）帯広～苫小牧。帰ってきて古川村治郎Liveからまた織田リハーサルそしてOn The Road 松本。ここからがたいへん。やっと楽器2セットにしたのだが、バリトンサックスは1本だけ。こんなでかいもの持って電車に乗れない。で、松本から織田の名古屋、大阪は自分の車で自走～地獄である。松本から名古屋は終演後走るので、ついた頃にはお店なんてやってない。コンビニしかない。大阪もやってない。へんびな場所のホテルだ。ま、疲れているのだからとつとつと寝ろということか。そんで大阪から帰って、ズカルフの配信。1日おいて織田の日本橋三井ホール、終演後、バリトンサックスもって川崎方面にあるトランポのサンブランツさんまで届ける。もう夜11時過ぎ。そして翌日はOn The Roadで山形、秋田……死ぬ、とか言いながら山形へはみんなより早く入って山形名物そばで蕎麦焼酎蕎麦湯割、く～しみるぜ。

し かしこの東北ツアー、何が怖いって熊です。熊と言ってもツアープロデューサーではない。ほんとの熊である。特に秋田はやばいです。秋田の新し



協力_Road & Sky photo_Junji Naito



くなった芸術劇場は久保田城のある千秋公園の隣にある。その公園に熊が居座っているらしく、公園は立ち入り禁止。その周辺にかなり出没している。ライブの最中も会場近くで目撃されたらしい。ホテルもそのすぐ側。やばくね？ ここでちょっとスケジュール空くかと思いつか、自分のライブを長野で、ちょうど「疑惑のスタンダード File6」のリリースもあって、(何でこの忙しい時に。馬鹿じゃないの) 11月2、3日いつもの

長野INDIA・ザ・すばいす。と、流石に体調がやばい。風邪？ ま、熱はないし、ちょっと喉がいがらっぽいけど、歌わないし強行突破！ つ、疲れた。東京に戻ると下痢。要するに仕事のないときは病院通い。目の調子もまだまだ悪い。しんどいぜ。

と か言っているうちにOn The Road 益田、広島でござる。益田？ どこ？ 島根？ これまでツアーやっていて初めての地である。なかなかいい街だけど、予想以上に何もない。でも自然豊か。だから、熊から逃れたとききや、ここも出るらしい。何もないようで、この街の飲み屋さんはなかなか良い。山陰独特のお魚、例えばノドグロとか、ソウダガツオとか、おいしいお魚。それと素朴な焼きめしがうまい。チャーハンじゃなくて焼きめし。ちょっとまだ風邪が抜けきっていないのでお酒は控えめ。そしていきなり広島であります。いや、今年は広島が足りなかったんだよ。いつもは3、4回は来ているのに、今年はやっと2回目。でも着いた日は日曜で中ちゃんが休み。でも代わりに教えていただいたお店も良い。牡蠣三昧！ たまらん。翌日はOFF。昼は上海総本店でラーメン食べて、夜は待望の中ちゃん。ああ、幸せだあ。と、広島は今回のツアーにしては比較的大都市だからか？ 演奏する楽曲もいつもとちょっと違う。そのせいか1日目はいろいろあったような？ でも2日目は結構よかったです。はい、毎日BESTがいいですよねえ。

PROFILE

ふるむら・としひこ／1982年より浜田省吾の不動のライブメンバーとして、またソロ活動のほか、古川村、カンフル罪などのユニットでも活躍中のサックス・プレイヤー。お酒とヤクルトスワローズとプロレスが大好き。あと大相撲が好き。

■Official web site >>www.g-gospel.net/FURUMURA/

